

たものであって、ここにも経済成長の恩恵がある。

こうしたなかで、長い差別の歴史に終止符を打つための努力が、同和教育、同和对策事業として進められている。昭和三十二年（一九五七）の南部の隣保館の建設はその嚆矢であったが、以後南部大火の復興から、最近の国の同和对策特別措置法施行による町の同和对策室設置、さらに新装成る町民館へと町の努力には見るべきものがあり、とくに学校教育、社会教育の両者を通じて同和教育をその柱とする。国民的課題が達成され、差別のあとを断つ日の遠くないことを思わせるものである。

合併以来ここに二十年、その歩みは以上のように見事なものであったが、長い苦闘の歴史からいえば束の間でもある。現在の繁栄を思うにつけても過去を知ることが重要であって、いずれも先人たちの粒々辛苦の成果と云えよう。改めて先人に感謝を捧げたいものである。そしてそれこそが未来の困難を解く道と思う。

「往事を述べて来者を思う」原漢文「史記」

## 自然編

春野町の自然

位置・疆域

**位置・疆域** きやういき 春野町は高知県の中央部に位置し、また吾川郡南部を占める。面積約四十六平方キロメートルの地域は、北は鷲尾山わしお―吉良が峯の山脈によって、高知市および吾川郡伊野町に境し、南はほとんど直線状の海岸線で土佐湾に面する。東は内谷、東諸木東方を走る丘陵をもってまた高知市に連らなり、西は仁西の部分のぞいて、緩やかに屈曲する仁淀川を挟んで土佐市に接する。平面形は南北凡そ七キロメートル、東西凡そ八キロメートル、平行四辺形を思わす規則正しさである。町役場はほとんどその中央に位し、町役場位置の経緯度は左表のようである。

東 経	百三十三度三十二分十四秒
北 緯	三十三度二十二分二十八秒

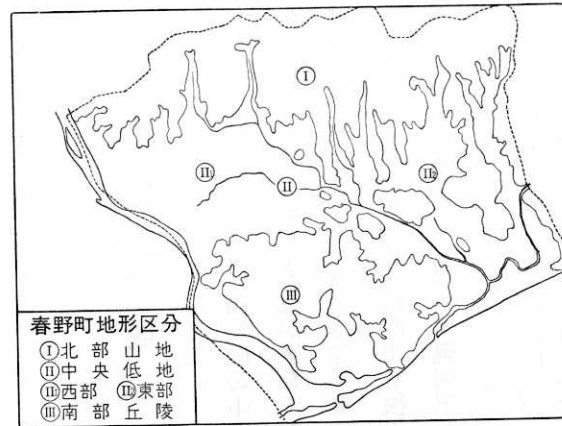
町の平面形が規則正しいことは、町役場から町内各地への連絡を便にしているが、最遠距離の集落も十キロメートルを超えない。したがって自動車で二十分である。これは春野町が町内に支所を置かず、また学校統合が円滑に進んだ条件である。<sup>1)</sup>また高知市にも近く、高知県庁まで約十三キロメートル、自動車で三十分である。現在春野町が高知市の近郊的存在の一面をもつのは、そうした近距離にある関係と思われる。

## 地形・地質

**地形** 春野町の地形は東西に带状をなす三区からなっている。すなわち北部山地、中央低地、南部丘陵である。以下各区について順次記述しよう。

北部山地は、高知県南部を東西に走る入不山脈の一部であって、高知平野と吾南、高東の平野を分けている。最高三百五十八メートル、町内を一望にする展望雄大な烏帽子山を主峯に、近世土佐の歌人大倉鷲夫の愛した鷲尾山、今はない古刹跡の柏尾山、戦国の武将に因む吉良が峯と連なる。山脈は、およそ二百メートル以上であって、古い時代から高知平野との交通の多少障害となっている。山地の中央を東西に後述の仏像構造線といわれる断層線が走り、これに沿って治国谷等三カ所の鞍部を持つ通谷が発達し、山地を二条に分けるとともに、これら山地を奥深く侵蝕して、中央低地に流出する溪流の源となっている。

南部丘陵は、最高百四十三メートル高森山を主峯とする妙見山脈であって、周囲に山脚を分岐する。これら山脚には侵蝕谷がよく発達し、古来水田と村を養ってきた。また山脚の一部海岸に臨むところは、甲殿の住吉、仁ノの文庫の鼻等岩礁の点在する景勝となっているが、その他の海岸は、直線的で小砂丘が連なり、その内側には小松の沼等の沼沢を湛える。



中央低地―北部山地と南部丘陵とに囲まれた中央低地は、西は土佐市のいわゆる高東平野に連なり、両者を一体とすれば凸レンズ状の低地となる。春野町の部分は吾南平野と呼ばれてきたが、仁淀川流域平野といえることができる。

大仁淀国原縫うて五月晴 田村 無人(高知市)

仁淀川は愛媛県石鎚山より発源し、延々東南流して高知県を横断、春野町で土佐湾に注ぐが、古来吾川、高岡兩郡の境となったことが多く、春野町の西境となる。ただし前述のように西畑では平江須賀西端が郡境となっている。これは仁淀川の河身が東方に移ったからであって、その時代は不明であるが、仁淀川は古来水害の激しい川として、そうしたことはあるいは自然であったとも思われる。なお仁淀川の屈曲する所には、西畑のあもずあるいは新居(土佐市)の十文字のような淵があり、洪水の際の侵蝕の激しさが知られる。また河口が台風等による

在吾川高岡兩郡之間國中第一大川也源出自伊豫國松山云今作二淀川

者恐非也延喜内膳式譜國貢進御衆  
 條云二佐國押年魚一千雙煮鹽年魚  
 五岳所貢叔齊殿擬供御蓋上世漁御  
 贊年魚於此川故為石至今出大年魚  
 國內無此

「土佐幽考」(高知県立図書館蔵)

暴浪のため塞がれ、洪水の害を助長したことも、かつて仁ノの晴天の洪水としてよく知られていることである。

中央低地は、以上の仁淀川およびその分流新川の堆積平野であって、「沃野東西に展けて万頃望むべく、白壁樹間に隠見」(「四カ村合同趣意書」)する豊かな地域である。新川川は現在堤防によって仁淀川本流から遮断され、弘岡井筋の餘り水と、北部山地および南部丘陵からの溪流とを、併

